

●住居改築のため世田谷に転居 九七年五月二十五日

緑滲（し）む 驟雨三度びや 転居の日

家財なき 部屋より眺む あじさい花

敬礼ひとつ 旧居離れる 梅雨のなか

妻還暦 われ六十路越え 梅雨きたる

梅雨晴れし 富士霊園の あじさい花

梅雨晴れや 生き方変えん 六十路坂

仮住まい 夏を過ごして 秋の雲

世田谷に 夏を暮らして 去り難き

ここに死す 老親にわが身 重ねけり

新築の 秋の陽ざしに はしゃぐ妻

(九七年十月十三日)

新宅に 帰り吠え声 戻る犬

一つずつ 歯欠ける秋や 六十路越え

新築の庭に早くも
秋の草

新築の夢
床の間と
書斎の間